

ヤ
ク
チ

法蓮之室

山と山との神を祀りて交をとりて云々 周を祀りて

後付工部之傾知と云初

揮 筆

細懸式

掉姫より去年の暮るを春ぬるやいふとあぢ

百首ふりて又廣くも書

一条院の
山娥と云ふ